



夢の星新聞 《3年生》

2026年1月5日（月）

発行 宇佐キャンパス

1月号 編集人：藤井・矢野

1月号

挑戦や飛躍のチャンス『午年』。ワクワク・ドキドキで行こう!!

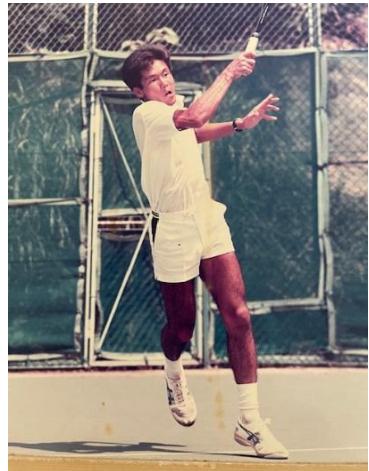


皆さん、新年、明けましておめでとうございます！ 今年は『午年』です。午年は「勢いよく進む」「大きく成し遂げる」年とされ、持てる力を一気に發揮し、挑戦や飛躍のチャンスに恵まれる年であると考えられています。まさに、皆さんにピッタリの年です。進学する人、就職する人、様々ですが、それぞれが、新しい第1歩をワクワク・ドキドキしながら、踏み出していくって下さい。卒業式までは、スクーリングも何もないで、学校に来ることはほとんどないと思いますが、ちょっと寂しいので、昨年の真似のように、時間があれば、顔を出すようにしてね！ 待ってるバイ(^\u263a^)/



皆さんには、なんでもいい。何か「熱中できるもの」を見つけて欲しい・・・。

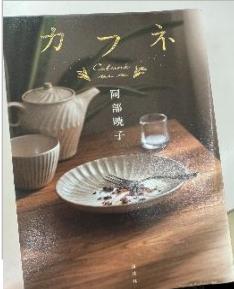
私は大学の4年間、硬式テニスに熱中していました。正月休みを除いて、ほぼ毎日朝から夕方まで部活で汗を流し、夕方からは、テニスのインストラクターのバイトをやっており、本当にテニス漬けの毎日でした。そのおかげで、テニスを通じて、たくさんの仲間と出会うことができたし、テニスというスポーツから、多くのことを学びました。例えば、どうすれば強い相手に勝てるのか？自分なりに必死に考えて練習しました。そういう経験が私の今の人生を作り上げているのだと思います。皆さんも、できれば、「熱中できるもの」を見つけて下さい！ なんでも良いです。そのためには、まず、自分の「好き」を振り返り、失敗や挫折を恐れずに、新しいことに挑戦してみることです。将来、何かの役にきっとなりますよ！間違いない!!



担任から、ひとこと

『美味しい』と感じられる日が、また来る

2025年本屋大賞を受賞した『カフネ』は、喪失を経験した主人公が、人との出会いや「食べること」を通して、少しずつ前を向いていく物語です。皆さんも、つらい出来事があって心が追いつかない日があるかもしれません。それでもお腹は空き、ご飯を食べると「美味しい」と感じる。その何気ない感覚が、今日を生き抜く力になります。



進路や将来に迷う今、不安を感じるのは自然なことです。すぐに答えが出なくても大丈夫。人とのつながりや日常の中に、必ず小さな希望はあります。自分の気持ちを大切にしながら、一歩ずつ前へ。

副担任から、ひとこと

サックス、もっと上手くなりたいー!!

昨年6月から始めたサックス。文化祭でいいところを見せたいと思っていたのですが、残念ながら、不完全な演奏となっていました。でも、初めて人前で演奏して、正直楽しかったです！自分の演奏だけでなく、他の楽器と音リズムを合わせるって、本当に難しいことですが、難しいからこそ、何とかしてやろう！って気持ちにもなりますし、上手く行った時の喜びは



計り知れません。まずは、サックスの基礎をしっかりと叩き込んで、来年、必ずリベンジしてみせます！是非、見に来てね～(^\u263a^)/